



会報 第172号

発行日 2019年1月1日

発行・編集 V・G 槻輪

代表者 大岡成一

http://web1.ibj.co.jp/~kirin

わがまち紹介

古くは歌に詠まれた
由緒あるまち

豊中市待兼山
大阪大学総合学術
博物館見学

博物館見学

初冬の薄曇りから小
雨になった12月6日、

阪急電鉄宝塚線石橋駅に、
全員集合し、待兼山にあ
る大阪大学総合学術博
物館を訪問しました。

博物館では半田先生
(物理学博士)に、館内
を順序だてて、専門的
で深い展示内容を本当
が

大正15年、山上に旧
制浪速高等学校が設立
され、現在もその後身
の大阪大学石橋団地
(通称豊中キャンパス)

にわかり易く、長時間
にわたり説明をして頂
きました。

本当に有難う御座い
ました。

見学後、「カフェ阪」で
美味しい昼食を頂きまし
た。

待兼山(まぢかねやま)
標高約77mの千里丘
陵です。

「待兼山」は阪大の代
名詞となっている。

また昭和39年、学内
工事現場から出土した
先史時代(新生代第四
紀)のワニ・マチカネ
ワニの化石でも有名で

完全に近い骨格である
ことが評価され平成26
年、国の登録記念物と
して登録されました。

大阪大学総合学術
博物館

博物館

先史時代の出土品か
ら最近の先端研究の機
器や標本まで、大阪大
学が有する様々な学術
資料を管理し、公開す
ることを主な目的とし
て、平成14年4月に設
置された。これは旧帝
大の附属博物館として
最後だそうです。



豊中キャンパスから
出土したマチカネ
ワニの化石の骨格

日本で発見されたワ
ニ類化石第1号であり、

総合学術博物館では、
大阪大学が創立以来収
集・保管してきた学術
標本を展示公開すると
ともに、大阪大学の最
新の教育・研究成果を
展覧会の形式で紹介し
ています。

最先端の分析・測定
技術を駆使して、標本
資料の新しい学術価値
を見出します。同時に、
これらの資料を通じて、
「文理融合」を理念と
して異なる学問分野の
間で共同研究のコーデ
ィネーター役を果しま
す。また、古い理化学
機器などの学術標本を、
教育活動へ有効的に再

活用する方法を研究
します。また、学芸員
資格取得に必要とな
る博物館実習による
人材育成を通して、博
物館全体の振興・支
援・協力を行っていま
す。



情報処理技術遺産と研究者達
真空管式コンピュータの展示

総合学術博物館は
企画展・特別展以外に
も様々な社会貢献・地
域連携活動を行って
います。大学で行われ
ている最新の研究を
くつろいだ雰囲気
で紹介する「サイエンス
カフェ@待兼山」は、
平成20年に始まり、
現在は総合学術博物
館のイベントとして
定着しています。

2019年 新年のごあいさつ



新春のお慶びを申し上げます

VG槻輪 会長 大岡成一

VG槻輪は、皆様のご支援とご協力を得て本年11月
創設15周年を迎えることとなります。

会報「VG槻輪だより」は、会が開放的で、会の活動を
わかり易くするため、創設と同時に発行し、平成31年
1月に第172号を発行することが出来ました。

また「VG槻輪」のホームページも創設時に開設し、
現在までの全ての活動を図書館的な働きを持たせ、誰
でも、いつでも、どこからでも見る事が出来ます。
ここまできましたのは、会員の皆様が、いつも活動に
ご協力して下さい、その活動報告をして頂いた結晶で
す。本当に有難う御座います。

今年度も残り少なくなってきましたが、皆様から頂
いた活動提案を最後まで完遂したいと思っています。

これから、新しい年度計画をいたしますので、皆様
方の建設的・具体的なお意見をお願いします。

2019年も、VG槻輪の活動をイノベーションしましょう！
なお今後の活動につきましては、会員の年齢等のこ
とも配慮して計画したいと考えています。

これからもお互いに身体に気を付け、元気で活動に
参加して頂きますようお願い致します。

2019年1月度行事予定

大阪の中心地「天下の台所」のまち：大阪市天満
「大阪くらしの今昔館」見学

月 日：2019年1月16日(水曜日)
集 合：天神橋筋六丁目駅 北改札出口 集合
訪問先：大阪くらしの今昔館
その他：1) 雨天決行
2) 詳細は別途配布資料を参照下さい。

2019年2月度行事予定

古い歴史を物語る神の宿るまち：上牧
「高槻化成株式会社」見学

月 日：2019年2月14日(木)
集 合：阪急上牧駅 改札出口 集合
内 容：高槻化成株式会社
そ の 他：1) 雨天決行
2) 詳細は別途配布資料を参照下さい。



待兼山修学館にて